

平成 25 年度 特別支援教育関係 主要事業

1 特別支援教育システム整備事業

(1) 学習支援室システム整備事業

通常の学級に在籍する障害のある児童生徒の、生活面や学習面での困難を改善又は克服するため、学習支援室を設置・活用して、一人一人のニーズに応じた指導と必要な支援を行う。

〔指定校：4校〕 ○塩竈市立玉川中学校 ○色麻町立色麻中学校,
○美里町立小牛田中学校 ○栗原市立若柳中学校

(2) 居住地校学習推進事業

特別支援学校の児童生徒が居住地にある小・中学校に赴き、主に同学年の児童生徒との交流や共同学習を通して、お互いに理解を深めあうことにより、学びを深める。

〔平成 24 年度実績〕 ○特別支援学校の参加児童生徒数 298 人
○学習回数 延べ 1,021 回
○居住地の小・中学校数 223 校

2 発達障害早期支援事業

保護者に十分な知識がない場合、発達障害に気付くことなく幼児期を過ごす子どもも多いことから、3歳児検診などの機会に保護者や周囲に気付きを促すとともに、該当する保護者に対して、長期記録用の「すこやかファイル」を配布し、継続的な支援を行えるようにする。

〔平成 25 年度 指定市町村 11 市町村〕 ○塩竈市 ○角田市 ○登米市 ○栗原市 ○大崎市 ○大河原町
○丸森町 ○富谷町 ○大衡村 ○加美町 ○女川町

3 特別支援教育総合推進事業

障害のあるすべての幼児児童生徒に対する特別支援教育を総合的に推進するため、支援体制の整備や実践研究の実施、成果の普及等を推進する。

(1) 特別支援教育の体制整備の推進

○県特別支援連絡協議会の設置

〔推進地域：仙台市を除く 34 市町村〕

(2) 早期からの教育相談・支援体制構築

○相談支援ファイルの活用（乳幼児期から成人期に至るまでの一貫した支援のためのファイル）

〔推進地域：白石市〕

4 特別支援教育研修充実事業

特別支援教育を推進する管理職や特別支援教育コーディネーターの一層の資質向上を図るため、県内すべての小・中学校、高等学校の教員を対象とした研修を行う。

(1) コーディネーター養成研修

○新担当者コース（初めて特別支援教育コーディネーターに指名された者：悉皆） 2日

○経験者コース（コーディネーター経験 2 年目以降の者で希望する者） 1日

○地域支援コース（教育事務所、特別支援学校より推薦された者：計 27 人） 3日

(2) 特別支援教育担当教員等実践研修

○通常の学級・特別支援学級の教員が特別支援学校で体験研修 4日（※24 年実績 32 名参加）

(3) 管理職研修（校長、教頭）

○仙台市を除く小・中・高等学校の新任校長対象（悉皆） 1日

